

第3回

あび中

社会科通信

2017/6/23

飛鳥文化と白鳳文化

1学期も終わりに近づいてきた7月のある日、1年生の教室で7世紀ごろの文化についての授業が行われていました。

7世紀前半に活躍した、聖徳太子や蘇我氏は仏教を深く信仰し、広めようとしていました。聖徳太子は現存している世界最古の木造建築である法隆寺を建て、蘇我氏は飛鳥寺というお寺を建てました。

7世紀後半から8世紀初頭にかけて栄えた白鳳文化では、朝廷の儀式が充実し、その儀式は今日まで受け継がれています。天照大神をまつる伊勢神宮では、20年ごとに神殿などを建て替える儀式の「式年遷宮」が行われています。平成25年に62回目の式年遷宮が行われました。さまざまな儀式を約8年かけて行うそうです。

今回の授業ではプロジェクターを使い、各文化の代表的な建築物などを見ました。今回学習した飛鳥文化・白鳳文化は奈良県を中心に栄えた文化です。夏休みの旅行の訪問先の1つとして、法隆寺などのお寺を訪れてみてはいかがでしょうか。



ご近所フィールドワーク ～大阪市立大学の巻～

五代友厚^{ごだいともあつ}を知っていますか？薩摩藩^{さつまはん}出身で江戸時代から明治時代にかけて活躍した実業家です。大阪経済を立て直すために尽力^{じんりよく}しました。NHKの朝ドラ「朝が来た」でディーン・フジオカが演じたことで注目されましたね。五代ロスという言葉でも注目されました。大阪市立大学は、その五代友厚ら当時の大阪財界有力者によって1880年に創設された市立大阪商業学校が源流です。旧学制^{きゅうがくせい}において、一橋大学・神戸大学と大阪市立大学の3校だけが商大だったため、旧三商大として現在でもスポーツなどの交流があります。



旧制大阪商科大学設立時の大阪市長である關一^{せきはじめ}が大学開設にあたって発表した「大学は都市とともにあり、都市は大学とともにある」および「国立大学の“コピー”であってはならぬ」という発言は現在でも大阪市立大学の理念とされています。

今、「市大ストレッチ」が注目されています。授業後や会議後に気軽に実施できるよう、イスに座ったまま体をほぐすことができるように考えられたストレッチです。テレビ番組や新聞でも紹介されています。授業終わりに試してみてもいいでしょう。

『神宿る島』宗像・沖ノ島が世界遺産に！

ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産委員会は7月9日、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界文化遺産登録を決定しました。

沖ノ島は福岡県の玄界灘^{げんかいなだ}に浮かぶ島で、宗像大社沖津宮^{むなかたたいしやおきつみや}という神社があります。ここは古代（4～9世紀）から、大陸との海路の安全を祈願する場所として大切にされてきました。銅鏡や金製の指輪などの装飾品がたくさん出土し、「海の正倉院」とも呼ばれます。島は女人禁制で、神職以外の男性も原則立入禁止です。また、なんと草1本、石1つも島から持ち出すことが禁止されているのだとか！昔から守られてきた厳しいおきてのおかげで、千数百年前の祭祀^{さいし}の跡がほぼ手つかずで残っているのです。

今回の登録で、日本の世界遺産は21件（このうち文化遺産17件・自然遺産4件）となりました。他にはどんな世界遺産があるのか、夏休みにぜひ調べてみましょう。

